

## 令和7年度 学校評価(1) 集計結果

4:よくあてはまる 3:あてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

児童 保護者 教職員

1	充実した学校生活を送っている。	3.5	3.3	3.1
2	めあてや目標に向かって粘り強くがんばっている。	3.4	2.9	2.9
3	新しいことや難しいことにチャレンジしている。	3.4	2.8	2.8
4	思いやりの気持ちが育ってきている。	3.5	3.2	3.0
5	仲間や友達と、仲よくしたり協力したりすることができる。	3.6	3.2	3.1
6	ルールやマナーを守っている。	3.4	3.1	2.7
7	場に応じたあいさつや言葉遣いができる。	3.5	3.1	2.4
8	学習内容をよく理解している。	3.4	2.9	2.9
9	家庭学習の習慣が身についている。	3.5	2.8	2.9
10	本に親しみ、よく読んでいる。	3.1	2.7	3.1
11	好き嫌いせず、何でもよく食べている。	3.3	3.0	2.6
12	運動に親しみ、体力を高めようとしている。	3.5	3.1	3.1
13	片付けや掃除、手伝いなどを行っている。	3.6	2.8	3.0
14	早寝早起きや歯磨きなど、健康的な生活習慣が身に付いている。	3.5	3.0	3.0
15	安全や衛生に気をつけて過ごしている。	3.7	3.1	2.9
16	学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気がある。	3.5	3.3	3.2
17	子どもの成長につながる活動が行われている。	3.5	3.2	3.3
18	児童や保護者の悩みに、親身になって対応しようとしている。	3.5	3.2	3.2
19	安全や衛生に配慮した環境づくりが行われている。		3.2	3.5
20	保護者や地域との連携を取っている。		3.1	3.3
21	学校・学級だより等での情報発信を行っている。		3.3	3.4
22	礼儀や言葉遣いに気をつけて勤務している。		3.4	3.3

### ■学校評価から見える課題と今後の対策について

#### 【項目16・17】

今年度の学校評価では、「学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気がある」「子どもの成長につながる活動が行われている」といった項目が、昨年度より上昇しました。本校の教育活動が、子どもたちの安心感や成長につながっているものと受け止めています。大好きいっぱい笑顔いっぱいの学校で、自分らしく力を伸ばしていける学校づくりを大切にしていきます。

#### 【項目2・3・8】

一方で、「めあてや目標に向かって粘り強く取り組むこと」や「新しいことや難しいことにチャレンジすること」については課題が見られました。学習内容の理解が深まることで挑戦する意欲が高まり、挑戦する経験がさらに理解を深めるという関係があると考えています。授業では基礎・基本の定着を図るとともに、達成感を味わえる学習活動や、自分で考え挑戦できる場面を意図的に取り入れ、粘り強く取り組む姿勢を育てていきます。

#### 【項目6・7】

また、ルールやマナー、あいさつや言葉遣いは、みんなが安心して気持ちよく学校生活を送るための基盤となる大切な力です。学校生活の土台となる部分であり、学習や友達関係の充実にもつながることから、特に重点をおいて取り組んでいます。日常の学校生活の中で場面に応じた具体的な指導を重ねるとともに、子どもたち自身がよりよい学級・学校生活をつくる主体として考え、行動できるよう継続して指導をすすめていきます。保護者の皆様にも、ご家庭での声かけ等にご協力いただけますと幸いです。

#### 【項目20・21】

情報発信については評価をいただきましたが、保護者や地域との連携に関する評価にはやや低下がみられました。今年度は新たに保護者や地域と連携した活動にも取り組んできましたので、学校だよりや各種通信、ホームページ等を通して積極的に発信し、学校の様子や取り組みをわかりやすくお伝えしていきます。今後も地域とともに子どもを育てる学校づくりをすすめていきます。

## 令和7年度 学校評価(2) 学校関係者による評価

### 【学校評価結果から】

○全体的な集計結果として、児童の自己評価が高く、自分自身の取り組みを肯定的に捉えていることがわかる。自己肯定感の育ちとして高く評価してよいのでは。

○【項目7】についても、児童の自己評価は高く、意欲的な姿勢がみられる。一方で教職員・保護者の評価が慎重であり、児童の評価との差が大きい。これは、大人として、定着に課題を感じているからではないか。児童の肯定的な意識を伸ばしつつ、学校と家庭が密に連携し、あいさつや時と場に応じた言葉遣いの定着を図ることが大切ではないか。「家庭のしつけ」と「学校の指導」の歩調を合わせ、規範意識を醸成させていく必要がある。

### 【学校や地域で見かける子どもたちの様子】

○元気なあいさつができる児童が多い。交通ルールやマナーを守る児童が大半であるが、道路の不適切な場所での横断や、自転車ヘルメットの未着用など、安全面での課題が見受けられる。

【学校より】地域からの連絡や実態を受け、学校ではその都度、学級での指導や安心メールによる家庭への啓発を行っている。

○今後も学校と家庭、地域での情報交換を密にし、命に関わる規範意識を育てていける体制を維持していくことが大切だと考える。

### 【教職員及び教育活動への、保護者や地域の方の考えや意見】

○休み時間5分についての意見があるが。

【学校より】導入当初は慌ただしさが見られたが、1校時と2校時の間は10分休みを確保するなど、メリハリのある時程編成に努めている。また、トイレについては、休み時間だけでなく授業中でも必要に応じて行けるように柔軟に指導している。

○行事削減への指摘がある。

【学校より】学習発表会は廃止したが、学期に1回の行事設定や、授業参観での発表機会確保など形態を変えて実施している。また、児童主体のハロウィンパーティーやお化け屋敷、15分間の集会活動など、自主性を育む小規模な活動を充実させている。

### 【喜々津東小学校に期待する地域に果たす役割】

○今後も学校という場所を中心に地域のつながりを大切にする取り組みができれば。

【学校・PTAより】地域子ども教室では、門松づくり、PTAでは「餅つき」「除草作業」「水鉄砲大会」「スプリングコンサート」等、家庭・地域との連携した行事を行っている。PTA活動は義務ではないが、子どもの成長を育み、保護者同士、地域住民としてのつながりをつくる大切な活動である。本校の保護者・地域の方の協力に感謝している。

## ■保護者からの御意見・要望より

<b>○年間行事予定などをHP等に掲示してほしい。変更があれば速やかに修正してほしい</b>
→年間行事予定は、学校ホームページに掲示しています。次年度、変更の際は更新した旨を安心メールにてお伝えするようにします。下校時刻等は前月中旬にお知らせしてきました。次年度は、前月上旬までにお知らせできるようにします。
<b>○教育週間以外にも保護者が普段のようすを見学できる機会を設けてほしい。</b>
→授業参観以外にも、いつでも参観はできます。児童玄関横のチャイムを鳴らし、職員に一声かけていただいてから、ご自由にご参観ください。